

研修名 保育士研修D 保育実践研究（研究発表）

平成30年1月12日（金）10:00～12:30

発表① 「新たな時代の保育実践～すべての子どもに向けて～」

発表園 なごみこども園 伊瀬 祐美子 園長

発表② 「家庭や地域との連携による食育の推進」

発表園 友岡保育園 岡崎 真也 保育士 山本 真希 保育士

助言指導 桜花学園大学 小嶋 玲子 氏

1 講演要旨

1) マネジメント 保育実践研究の取り組み「実践研究の取り組み 実践研究の交流・公開保育」

① 実践研究の必要性と意義

- ・ 必要性 保育の質の向上を図る。
- ・ 意義 保育の見直し、質的向上、専門性の構築。

② 保育の実践研究論文を書く困難さ

- ・ 第三者にわかる文章を書く難しさがある。
→ 本人にわかりきったことは省略されることが多くなる。
- ・ 日本語の特徴
→ 主語と述語がねじれてしまう。
- ・ 論文を執筆する訓練を受けていない。
- ・ 論文執筆の時間がない。

③ 論文とは

あるテーマのもとで問題を立てて、それについて論理的・実証的に論述を展開し、最終的に提出した問題に解答を与える。

問いから始まり、議論を経て、解答に至る。論文での説得は論理と実証のみ。

④ アンケート調査について

- ・ 予備調査をする…いつ、誰に、どんな方法で、どんな質問を
- ・ 倫理的配慮…所属長の了解、本人が特定されないように、保護者の同意
- ・ 目的…満足度調査なのか、ニーズ調査なのか
- ・ 調査日時 ・対象者は？人数？
- ・ 配布方法は？ ・回収方法は？回収率は？
- ・ 実施前に結果の予想を立てて、それをどう記載するか決めてアンケートを取る。
目的を明らかにするために調査をする。
仮説を立てる。結果を予測し、その結果を論文の中でどのように使うか決定しておく。
- ・ 質問項目の立て方 選択し方式 ・単純集計なのかクロス集計なのか？
- ・ 自由記述の解答の整理

2 感想

現在、保育実践研究の取り組みを園で行っており、論文を書くことの難しさに直面しています。問いに対して答えがきちんと記されているかということが簡単なことのように一番難しいと感じています。なぜ、その研究をするのか？何を明らかにしたいのか？ということ常を振り返りながら実践研究を進めていかなければいけないと改めて感じました。今回、論文の書き方について学ぶことができたので現在、取り組んでいる実践研究で活かしたいです。

（記録 府中子ども園 吉岡 明日香）